

令和6年度 児童朝会（講話92）

令和7年1月27日 【ふゆ】

先週は「皆さんの知っている秘密を少し教えてください。」がお題でした。切符の秘密、いちごの秘密など、校長先生も知らない秘密がたくさんありました。ありがとうございました。

さて、先週から「大寒」といって、一年間で一番寒い日に入っています。冬の真っ最中ですが、皆さんは冬と聞いて何を思い浮かべますか？少し周りの人と聞き合ってみてください。



そう、雪という声がたくさん聞こえてきました。実は校長先生は箕面の山に住んでいるのですが、やはり山なので雪がたくさん降ります。20センチぐらい積もったときは、子どもとそり遊びもしました。

雪といえば、大阪市出身の偉大な詩人三好達治さんの詩が有名です。三好さんは、小学生の時は大変体が弱く、あまり学校に通えなかったそうです。でも本をたくさん読んだおかげで、とてもかしこかったそうです。

雪 三好達治  
太郎を眠らせ  
太郎の屋根に雪降りつむ  
次郎を眠らせ、  
次郎の屋根に雪降りつむ

では、まずは全員で音読しましょう。次に、前半135年、後半246年。その逆もしましょう。今度は前半男子、後半女子。またその逆もしてみましょう。いいですね。だいぶ情景がうかびあがってきたようですね。では、まわりのお友だちと、聞き合ってみてください。なお、物語や詩を読むときに、こう読まないといけないという正解はありません。言葉に寄り添って、自由に読み描けばいいのですよ。

では、みなさんはどんな雪景色を思い浮かべましたか？

①～④の中から選んでみてください。どれも同じぐらいの人数になりましたね。では、少し質問をしてみます。まず、太郎と次郎は兄弟なのでしょうか？聞き合ってみてください。

続いて、誰が太郎と次郎を眠らせているのでしょうか？聞き合ってみてください。

いろんな意見がでてきましたね。それを今週のお題とします。皆さんが、この詩から思い描いたものを、書いてみてください。

以上で校長先生のお話を終わります。今週も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。